

子どもたちが電子機器の組み立てなどに取り組む「でんし工作教室」は6月26日、相馬市の中央公民館で開かれ、参加者がものづくりの魅力を味わった。

キッズ工作スクール相馬の主催、アルプスアルパインの共催。小学3年〜中学1年の15人が参加した。

参加した子どもたちははんだごてを使って部品を組み立て、金属探知機、デジタルアラーム時計などを完成させた。

電子機器組み立てた！



はんだごてを使って部品を組み立てる参加者(右)